

2021年 11月30日	日仏社会学会ニュース	No. 55 日仏社会学会事務局
-----------------	-------------------	---------------------

<記事>

1. 2021年度日仏社会学会総会から

(1) 総会における決議事項 (2) 2020年度会務報告 (3) 2020年度会計報告ならびに2022年度予算
(4) 日仏社会学会功労賞および奨励賞受賞者の紹介 (5) 2021年度理事選挙の結果について(選挙管理委員会より)

2. 新理事会の発足について

3. 会員業績の年報掲載について

4. 『日仏社会学会年報』(第33号)への投稿論文等の募集について

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

6. 新入会員のご紹介 会費納入のお願い

7. 会費納入のお願い

1. 2021年度日仏社会学会総会から

10月30日(土)に神戸学院大学(オンライン開催、後援横浜国立大学GSフォーラム)において、日仏社会学会総会が開催されました。

(1) 総会における決議事項

1) 2020年度会務報告並びに同年度会計報告を承認(各別掲)

2) 2022年度事業計画並びに予算案を承認(各別掲)

(2) 2020年度会務報告(2020年4月1日～2021年3月31日)

2020年

6月6日(土)理事会: コロナウイルス感染拡大への対応について、大会について、年報32号の特集企画について、奨励賞について、研究活動について

6月15日(月): 『日仏社会学会ニュース』第52号を発行

9月5日(土): 理事会: 大会について

11月14日(土): 2020年度日仏社会学会大会・総会開催(遠隔開催・早稲田大学)

(会計報告、会務報告、新年度事業計画、予算案)

理事会: 年報31号の進捗、来年度大会について

11月30日(月): 『日仏社会学会年報』第31号発行

12月18日(金): 『日仏社会学会ニュース』第53号を発行

(3) 2020年度会計報告ならびに2022年度予算

2020年度会計<2020年4月1日－2021年3月31日>

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
繰越金	712,433	印刷費	163,130
入会金	4,000	通信費	42,490
年会費	368,000	事務用品費	6,569
受取利息	3	交通費補助	0
雑収入	0	雑費	61,530
		バイト代	22,720
		ホームページ	13,200
		繰越金	774,797
合計	1,084,436	合計	1,084,436

2022年度予算案<2022年4月1日－2023年3月31日>

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
繰越金	700,000	印刷費	250,000
年会費	420,000	通信費	50,000
雑収入	5,000	事務用品費	10,000
		交通費補助	70,000
		雑費	60,000
		アルバイト代	40,000
		ホームページ	20,000
		予備費	625,000
合計	1,125,000	合計	1,125,000

注記：繰越金額は2021年度末までの入金状況および出金状況を勘案した見込みです。

2022年度事業計画

- 1) 2022年度日仏社会学会大会開催
- 2) 『日仏社会学会年報』33号の発行
- 3) 研究例会の開催
- 4) その他

(4) 日仏社会学会功労賞および奨励賞受賞者の紹介

長年理事を務められました中島道男氏（奈良女子大学名誉教授）が日仏社会学会功労賞を受賞されました。また、金瑛氏（関西大学・非常勤講師）が日仏社会学会奨励賞（著書の部）を受賞されました。受賞対象著書は『記憶の社会学とアルヴァックス』（晃洋書房）です。大会のシンポジウム後に奨励賞授与式が行われました。なお、功労賞授賞式は、来年度の大会（開催校：奈良女子大学）で執り行う予定です。

(5) 2021年度理事選挙の結果について（選挙管理委員会より）

本年6月11日に公示し、7月15日に投票を締切り実施いたしました理事選挙の結果につき、以下のとおりご報告申し上げます。

1. 有権者数 84名
 2. 投票者数 投票者数 34（白票なし）（投票率40.5%）
 3. 総票数 288票
 4. 当選者<10名>（得票順、氏名）
 - 1) 雪村まゆみ 2) 荻野昌弘 2) 近藤理恵 4) 岡崎宏樹 4) 北垣徹 4) 佐藤典子 7) 江頭大蔵
 - 7) 菊谷和宏 9) 小川伸彦 10) 白鳥義彦
- 「日仏社会学会役員選出規定」にしたがいまして、上記10名が新理事に選出されました。

2. 新理事会の発足について

(1) 役員構成

理事選挙の結果に基づいて総会で承認された新期理事(計10名)並びに役員は以下のとおりです。(五十音順)

会長：荻野昌弘（関西学院大学）、副会長：江頭大蔵（広島大学）、小川伸彦（奈良女子大学）

常務理事：雪村まゆみ（関西大学）

理事：岡崎宏樹（神戸学院大学）、菊谷和宏（一橋大学）、北垣徹（西南学院大学）、近藤理恵（岡山県立大学）、佐藤典子（千葉経済大学）、白鳥義彦（神戸大学）

監事：林大造（追手門学院大学）、山本由美子（大阪府立大学）

事務局幹事：西牟田真希（関西学院大学）、横山寿世理（聖学院大学）

2021年12月8日現在(任期は2024年秋の総会まで)

(2) 研究活動委員

新理事会のもと、研究活動委員会を組織しました。専門領域と構成メンバーは以下のとおりです。(五十音順)

委員長：江頭大蔵（広島大学）

理論・思想：岡崎宏樹（神戸学院大学）、北垣徹（西南学院大学）、金瑛（甲南女子大学他）

記憶の社会学：藤吉圭二（追手門学院大学）、松浦雄介（熊本大学）、横山寿世理（聖学院大学）

教育・医療・福祉：大前敦巳（上越教育大学）、小田切祐詞（神奈川工科大学他）、佐藤典子（千葉経済大学）

文化・エスニシティ：白鳥義彦（神戸大学）、鶴巻泉子（名古屋大学）、長谷川秀樹（横浜国立大学）

2021年12月8日現在(任期は2024年秋の総会まで)

(3) 広報委員

本学会の活動に関する広報を充実させるため、広報委員会を組織しました。構成メンバーは以下のとおりです。(五十音順)

委員長：岡崎宏樹（神戸学院大学）

西牟田真希（関西学院大学）、雪村まゆみ（関西大学）、横山寿世理（聖学院大学）

2021年12月8日現在(任期は2024年秋の総会まで)

3. 会員業績の年報掲載について

日仏社会学会では、日仏社会学に関連する会員の業績を募集し、毎年刊行の『日仏社会学会年報』にて紹介しております。

送付締め切り：2022年3月31日（必着）

2021年1月1日～12月31日までに発行された業績5点まで（論文、報告書、翻訳）。

業績の記載方法：編集の都合上、『社会学評論』のスタイル・ガイド、「文献」記載方法の通りでお願いします。

（文字ポイントは10.5、フォントはMS明朝とCentury）

（単著の本）著者名，出版年，『タイトル—サブタイトル』出版社名。

（共著の本）ファーストオーサー氏名・共著者名，出版年，『タイトル』出版社名。

（編著論文）著者名，出版年，「論文タイトル」著者名編『本のタイトル』出版社名。

（雑誌論文）著者名，出版年，「論文タイトル」『雑誌名』巻（号）：論文のページ（例315-505）。

（翻訳書・翻訳論文）原典書誌情報（＝翻訳の出版年，訳者名訳『訳書のタイトル』出版社名。）

送付の方法：Eメール。ご送付の際には、お名前とご所属もお伝えください。

送付先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp（岡山県立大学、近藤理恵宛／電話番号：0866-94-2192）

また、日仏社会学年報に著書、翻訳書（共著、共訳可）の書評を掲載されたい学会員は、日仏社会学会編集委員会まで、メールで、ご氏名、著書名ないしは翻訳書名、出版年、出版社名をお知らせください（宛先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp）。書評対象は、近年、学会員がご執筆された①フランス社会学、②フランス社会（社会思想史を含む）、③日仏社会に関する広義の比較研究に関する著書、翻訳書（共著、共訳可）です。自薦、他薦のどちらも受け付けております。

4. 『日仏社会学会年報』（第33号）への投稿論文等の募集について

2022年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第33号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、書評に関しては、随時受付しております。

（1）原稿締め切り：2022年3月31日

（2）発行日：2022年11月30日

（3）原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）

電話 0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

（4）投稿規定

1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。

2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。

3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度

（図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語）

4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内

（図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語）

5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。

（約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語）

6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、

研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。また、5語以内の日本語及び、仏文または英文のキーワードを要約の後に添付する。

- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿 3 部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙1枚も送付のこと。
- 8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。
- 9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。
 - ・本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
 - ・著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
 - ・論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。
- 10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。
- 11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。
- 12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

「日仏社会学会奨励賞」の候補を下記の要領で募集します。自薦他薦を問いませんので積極的に推薦をお願いします。

◇本賞の対象◇

- (1) 候補者の資格：本賞の対象者は、日仏社会学会の会員であり、かつ論文に関しては発行時において大学院修士課程入学後13年以内、著書（翻訳書を含む）に関しては18年以内の者とする。
- (2) 対象となる業績：原則として当該年度（2022年）の前年（2021年1月1日～12月31日）において出版された、日仏社会学及び日仏に関連づけられた研究についての著書、論文及び翻訳書のうち著者の申請または推薦者以外の会員及び候補作推薦委員によって推薦された研究業績とする。
- (3) 推薦の締め切り：2022年3月31日（必着）で、対象となる出版物1部と推薦書を事務局宛に提出してください。（※推薦書の統一的な書式はありませんが、A4ワープロ用紙に、候補者の氏名、連絡先、所属、略歴と業績、対象出版物の書名を記載してください。）

日仏社会学会事務局：〒 662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

- (4) 受賞者の選考：当該年度の理事の中から互選された候補作推薦委員3名と、候補作審査委員3名をもって構成される日仏社会学会奨励賞選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- (5) 公表・表彰：『日仏社会学会ニュース』『日仏社会学会年報』などで公表し、総会において表彰される（賞状と記念品）。

6. 新入会員のご紹介

中村健太（関西学院大学）

7. 会費納入のお願い

2021年度会費を納入くださいますようお願いいたします。2018、2019、2020年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。2021年度の会費を納入されていない場合、年報32号が発送されません。納入が確認できしだい、発送させていただきます。なお、会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。同封の振替用紙にてよろしくようお願いいたします。郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会

日仏社会学会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

TEL/FAX 0798-54-6953, nichifutsusocio@gmail.com

<http://www.nichifutsu-socio.com/>
